



アルミ樹脂複合サッシュ「エピソードII」

値となる。試験値を運用すれば4地域から7地域でゼロエネルギー住宅への対応が可能だ。北関東以北の寒冷地に対応するため、熱を遮断して防露性を高める構造「形材断熱枠仕様」を採用。ガラスを樹脂スペーサー仕様にすることで窓の室内側表面温度の低下を防ぎ、防露性能を高めている。

近年において頻発する大型台風の脅威に対応するべく、耐風シャッタ

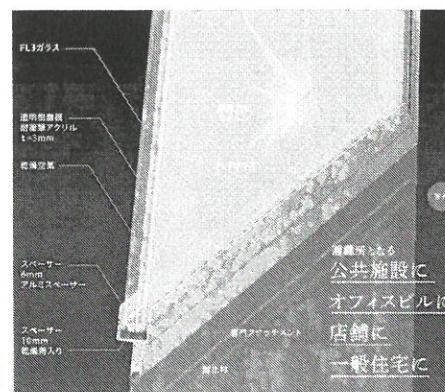
## 企業

### (株)サンシバ複層 複層ガラス製品が特許取得 防災・防犯・断熱性能を向上

(株)サンシバ複層(宮城県名取市、大久保良一社長)は2月2日、開口部の防災・防犯の機能を向上させた複層ガラス「エミネントペア・セーフサイド」が特許を取得したことを発表した。

近年、大規模な自然災害が頻発し

ており、大型の台風や竜巻などの発生も相次いでいることから、開口部を飛来物から守る必要性が高まっている。また、空き巣被害の約70%はガラス破りであり、防犯の観点からも窓ガラスを強化させる必要がある。同社の「エミネントペア・セーフサイド」は強い衝撃にも耐えられる複層ガラス。2枚のガラスの間にある空気層に透明樹脂板を挿入することにより、一般的な複層ガラス



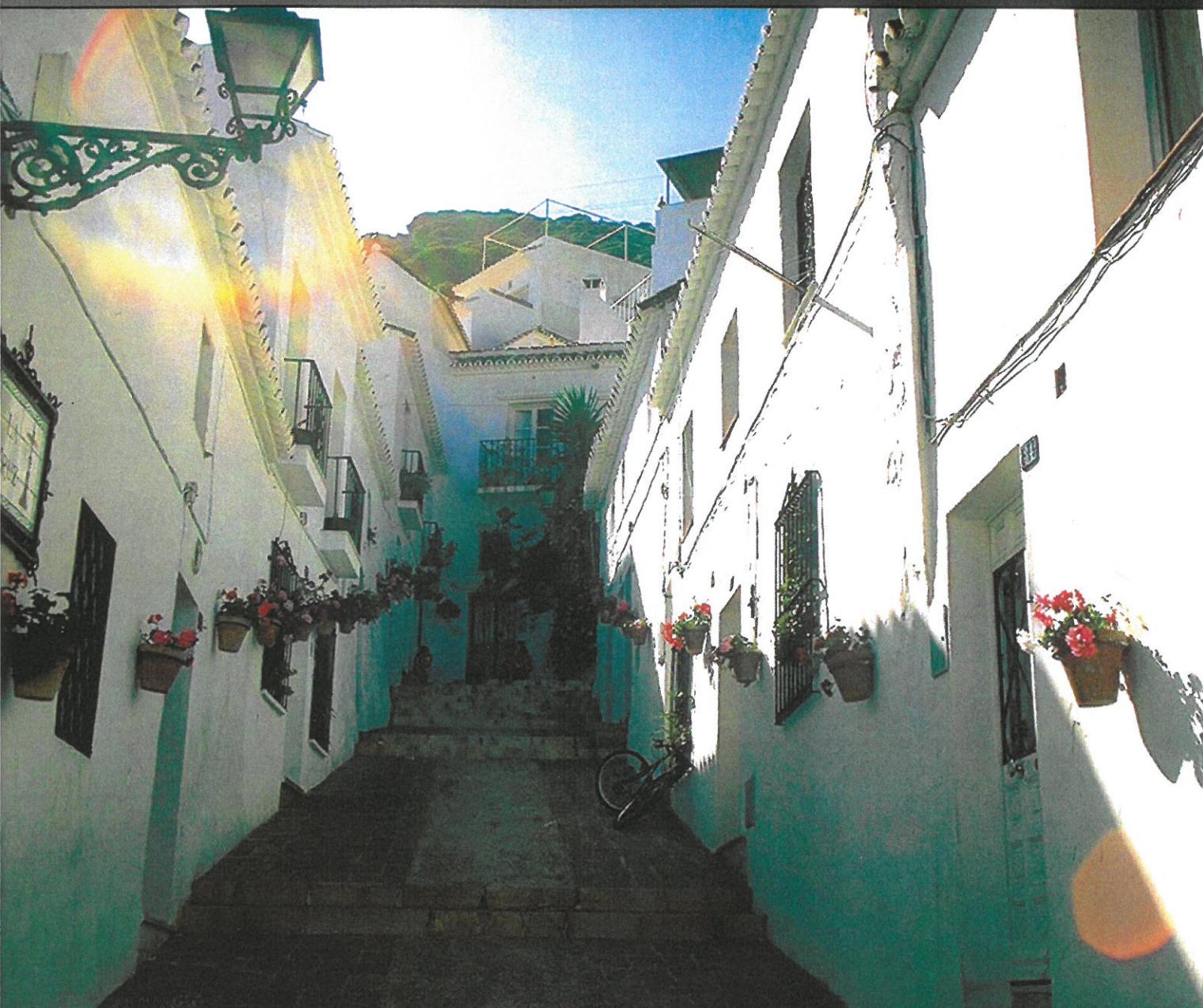
エミネントペア・セーフサイド

よりも強度を向上。この樹脂板が複層ガラスの安全効果を上げると共に、断熱性能にも効果を發揮する。建材試験センターにおける落球試験では、高さ3mから4・1キログラムの鉄球を3回落下させる試験を実施。実験の結果、貫通破損箇所は発見されなかった。

# インフィル・テクノロジー

IN-FILL  
TECHNOLOGY

製造・生産設備・内装施工に携わる人への新情報誌



レポート：アフターコロナの住宅政策

VOL.77